

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 7 日 (2021.10.7)

【公開番号】特開 2020-162809 (P2020-162809A)

【公開日】令和 2 年 10 月 8 日 (2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報 2020-041

【出願番号】特願 2019-65516 (P2019-65516)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 27 日 (2021.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が入球可能な始動口と、  
識別情報を表示可能な識別情報表示部と、  
画像を表示可能な表示手段と

を備え、

始動口への入球に基づき、乱数を取得する乱数取得手段と、

乱数取得手段により乱数が取得された場合、識別情報の変動表示開始条件を充足するまで当該取得された乱数を一時記憶して、保留が生起するよう制御する乱数一時記憶手段と

、

或る保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した場合において、当該或る保留に係る前記乱数に基づき当否判定を実行し、当該当否判定の結果に基づき識別情報表示部にて識別情報を変動表示させた後に識別情報を停止表示させるよう制御する識別情報表示制御手段と

を備え、

遊技者にとって有利な特別遊技状態を有しており、

特別遊技状態として、第 1 特別遊技状態と、第 1 特別遊技状態とは異なる第 2 特別遊技状態とを少なくとも有しており、

特別遊技状態の種類に関する履歴画像を表示手段にて表示可能であり、

履歴画像として、第 1 特別遊技状態に関する第 1 履歴画像と、第 2 特別遊技状態に関する第 2 履歴画像と、を少なくとも有しており、

装飾図柄の変動表示を表示手段にて表示可能であり、

所定の条件を満たした場合に、音量調整画像を表示手段に表示可能であり、

音量調整画像が表示手段に表示されている場合には、音量レベルの調整が可能であり、

音量調整画像と履歴画像とは同時に表示可能であり、

音量調整画像と履歴画像とが同時に表示される場合、音量調整画像の表示の方が履歴画像の表示よりも表示優先度が高くなり得るよう構成され、

音量調整画像と装飾図柄とが同時に表示される場合、音量調整画像の表示の方が装飾図柄の表示よりも表示優先度が高くなり得るよう構成されている

ことを特徴とする遊技機。

## 【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本態様に係る遊技機は、  
遊技球が入球可能な始動口と、  
識別情報を表示可能な識別情報表示部と、  
画像を表示可能な表示手段と

を備え、

始動口への入球に基づき、乱数を取得する乱数取得手段と、

乱数取得手段により乱数が取得された場合、識別情報の変動表示開始条件を充足するまで当該取得された乱数を一時記憶して、保留が生起するよう制御する乱数一時記憶手段と

、

或る保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した場合において、当該或る保留に係る前記乱数に基づき当否判定を実行し、当該当否判定の結果に基づき識別情報表示部にて識別情報を変動表示させた後に識別情報を停止表示させるよう制御する識別情報表示制御手段と

を備え、

遊技者にとって有利な特別遊技状態を有しており、

特別遊技状態として、第１特別遊技状態と、第１特別遊技状態とは異なる第２特別遊技状態とを少なくとも有しており、

特別遊技状態の種類に関する履歴画像を表示手段にて表示可能であり、

履歴画像として、第１特別遊技状態に関する第１履歴画像と、第２特別遊技状態に関する第２履歴画像と、を少なくとも有しており、

装飾図柄の変動表示を表示手段にて表示可能であり、

所定の条件を満たした場合に、音量調整画像を表示手段に表示可能であり、

音量調整画像が表示手段に表示されている場合には、音量レベルの調整が可能であり、

音量調整画像と履歴画像とは同時に表示可能であり、

音量調整画像と履歴画像とが同時に表示される場合、音量調整画像の表示の方が履歴画像の表示よりも表示優先度が高くなり得るよう構成され、

音量調整画像と装飾図柄とが同時に表示される場合、音量調整画像の表示の方が装飾図柄の表示よりも表示優先度が高くなり得るよう構成されている

ことを特徴とする遊技機である。

< 付記 >

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

遊技球が入球可能な始動口と、  
識別情報を表示可能な識別情報表示部と、  
画像を表示可能な表示手段と

を備え、

始動口への入球に基づき、乱数を取得する乱数取得手段と、

乱数取得手段により乱数が取得された場合、識別情報の変動表示開始条件を充足するまで当該取得された乱数を一時記憶して、保留が生起するよう制御する乱数一時記憶手段と

、

或る保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した場合において、当該或る保留に係る前記乱数に基づき当否判定を実行し、当該当否判定の結果に基づき識別情報表示部にて識別情報を変動表示させた後に識別情報を停止表示させるよう制御する識別情報表示

制御手段と  
を備え、

遊技者にとって有利な特別遊技状態を有しており、

特別遊技状態として、第 1 特別遊技状態と、第 1 特別遊技状態よりも有利な第 2 特別遊技状態とを少なくとも有しており、

特別遊技状態が発生したことにに関する情報である履歴情報を、特別遊技状態が発生した順に記憶可能であり、

履歴情報は特別遊技状態の種類に関する情報を少なくとも含んでおり、

履歴情報に対応する画像である履歴画像を、表示手段にて特別遊技状態の発生した順に表示可能であり、

履歴画像として、第 1 特別遊技状態に関する履歴情報に対応する第 1 履歴画像と、第 2 特別遊技状態に関する履歴情報に対応する第 2 履歴画像と、を少なくとも有しており、

装飾図柄の変動表示と簡易図柄の変動表示とを表示手段にて表示可能であり、

履歴画像と簡易図柄の組合せとが同時に表示される場合、表示手段にて履歴画像が最大まで表示された場合でも、履歴画像の表示領域と簡易図柄の表示領域とは重複しないよう構成されている

ことを特徴とする遊技機である。